

## 声優さんによる紙芝居



永澤さんの熱演に見入る飯野川小のこどもたち

**声** 優の永澤菜教さんが、紙芝居「きつねとごんろく」「おねぼうなじゃがいもさん」「やさしいところ」3作品を上演。テレビでおなじみの声優さんが来ると楽しみにしていた子どもたちは、登場人物の声を演じわけた永澤さんの紙芝居の世界に引きこまれた。

### ■紙芝居 in 宮城

2月25日 午前：宮城県石巻市立向陽小学校3・4年生  
午後：同石巻市立飯野川小学校1～3年生  
講師：永澤菜教（声優）  
「ちびまる子ちゃん」ブー太郎役他



### お礼の手紙

- やさしいところをもつことがだいじだと思いました。
- ぼくのゆめは、せいゆうさんに本を読んでもらうことでした。ゆめをかなえてもらってうれしいです。

## 道徳授業での紙芝居の活用

[講師 馬場喜久雄]



**東** 日本大震災後に作られた紙芝居「つなみのひ」の続編「まつりのひ」が完成した。中学年、高学年では、「郷土愛」の資料として効果的な内容である。

では、今なぜ「我が国の伝統と文化に親しみ、国や郷土を愛する心を育てる」という項目が注目されているのか。一つは、国際化の時代だからである。国際化だから、外国語を話さなければとか、外国の文化を知らなければという考えもあるが、英語を話せても日本のことを説明できなければ、国際的な人間とは言えない。自分の国の伝統や文化を大切にしない人が、どうして他国の伝統や文化を大切にできるであろうか。

もう一つは、「郷土を愛する心」が東日本大震災の

復興を早めることに繋がるからである。この街が好きだ、この街の美しさを取り戻したい、という心が、被災した街の未来を支えると言っても過言ではない。

紙芝居「まつりのひ」は、転校生に、街の様子を知らせるところから始まる。街を元気づけるために、お祭りを復活させようというのである。そこに、郷土への思いや、みんなで協力して街を元気にしようとする気持ちを子どもたちは感じるのである。

では、なぜ紙芝居か。最近では、電子紙芝居とかDVD等もある。しかし、教師が、子どもたちの様子を見ながら語っていく紙芝居は、低学年だけでなく、高学年の子どもたちの心にも大きく響くことを感ずる。また、電気系統などのトラブルもない。

これからも、災害が(二度とこのような災害が起きてほしくないが)起きたときの大事なこととして、「助け合い」「郷土愛」をテーマに、紙芝居を使った道徳の授業を続けていきたい。

## 公益財団法人 JKA は各種事業を応援しています

(公財) JKAの補助事業は、公益の増進や社会福祉の増進、東日本大震災復興支援事業等多岐にわたり、競輪&オートレースの収益の一部を地域社会に還元しています。

当運動本部との関わりも深く、(財)日本自転車振興会の時代(昭和46年)から、日本列島コスモス作戦や車椅子寄贈運動、青少年すこやか育成事業等を補助し、「小さな親切」運動の目指す心のかようあたたかな社会づくりをバックアップしてくれています。



いつも  
ありがとう

(公財) JKAの補助をえて推進しています

# 心がすくすく育っています

平成28年年明けとともに、運動本部オリジナル紙芝居を用いた道徳授業、子どもたちの感性と創作意欲を引き出す工作教室、声優さんによる紙芝居上演を各地で開催。

## 紙芝居授業



上)青木小学校での宮島講師による紙芝居授業  
右)新作紙芝居「まつりのひ」。津波の被害にあった沿岸部には、家がありません。



### お礼の手紙

- つなみはすごくこわいです。死ぬのがこわいからです。生きているのが一番大事だとわかりました。
- つなみがここにきたら、どうすればいいのかがすくわかりました。

**元** 小学校長の馬場先生、宮島先生を講師に、東日本大震災を題材に作製したオリジナル紙芝居「つなみのひ」、その続編として昨年新たに作製した「まつりのひ」を用いて道徳の授業を開催した。

そして、嬉しいことが二つ。一つ目は愛知県の小学校から、教育新聞を読んで紙芝居授業をしてもらいたいとの要請があったこと。二つ目は、東京の第二辰巳小学校で「つなみのひ」の授業を以前受けた児童たちに、続編「まつりのひ」の授業を実施したこと。1年前の授業を鮮明に覚えていて、津波への恐怖心があるものの、被害にあった村が復興したことを喜んでくれた。

### ■授業開催日

- 1月13日 愛知県豊田市立青木小学校 3年生  
講師：宮島盛隆 [白百合女子大学講師]
- 2月23日 千葉県御宿町立御宿小学校 2・3・5年生  
講師：馬場喜久雄 [全国小学校道徳研究会顧問]
- 3月 8日 東京都江東区立第二辰巳小学校 3年生  
講師：馬場喜久雄

## 工作教室

**大** 玉村教育長にご協力いただき、全国で初となる土曜学級での開催となった。午前は大山公民館、午後は農村環境改善センターに、大玉村立大山小学校・玉井小学校の児童らが集合。100分間の授業だったが、牛乳パックで作る「回転円盤お化け百面相」づくりに夢中で取り組んだ。

今回の授業は、子どもたちの自由な表現(きまった答えのない世界。上手下手でない)と身の回りにある廃材(牛乳パック)を用いて工夫する心を育てるのが目的。授業が終わって、「今度いつ来るの?」

「あつという間だった。まだ帰りたくない」「もっとやりたい」との子どもたちの声に手ごたえを感じた。

有賀先生の見本作品  
「お口パックカード」



力作「回転円盤お化け百面相」が完成

### ■工作教室 in 福島

- 1月23日 福島県大玉村立大山小学校&同玉井小学校  
講師：有賀 忍 [板絵画家]  
テーマ：牛乳パック(廃材)を利用したおもちゃの制作